

GPA とは

GPA は、授業ごとの成績を判定基準に従い評価し、各成績評価段階に係数 (Grade Point) を付与して、1 単位当たりの平均値 (Grade Point Average) を算出する方法です。

GPA により、自身の学修の実績を把握することができます。また、GPA は奨学生の選抜、派遣交換留学生の決定などの判定材料になります。近年は企業の採用にも GPA を用いる傾向にあります。したがって科目履修に当たっては GPA を考慮し、綿密な学修計画を立てる必要があります。

GPA の計算式

- ① GPA は、小数点以下第 3 位を四捨五入し、小数点以下第 2 位まで表示します。
- ② 不合格と判定された科目 (D 及び E 評価) を次年度以降再履修した場合、累積 GPA 算出には最新の成績評価を利用します。
- ③ 「成績表」の GPA は、年度ごとの数値及び在籍期間中累積の平均値が記載されます。
- ④ 成績証明書の GPA は、在籍期間中累積の平均値が記載されます。

※ 「日本を考える」の成績は GPA には利用しません。

$$\frac{(4 \times S \text{ の修得単位数}) + (3 \times A \text{ の修得単位数}) + (2 \times B \text{ の修得単位数}) + (1 \times C \text{ の修得単位数})}{\text{総履修単位数 } (S + A + B + C + D + E)}$$

※分母には P (履修中止科目)、N (認定科目) は含みません。